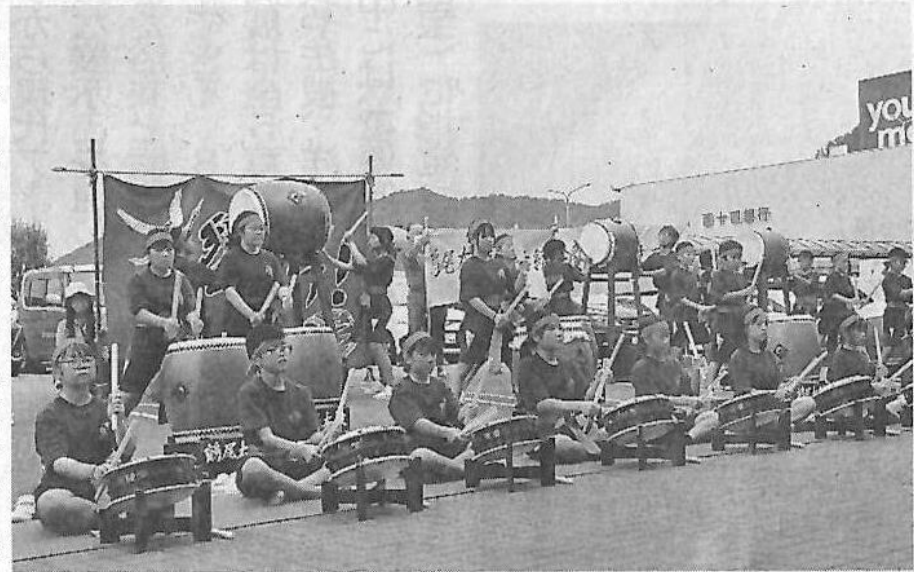


和太鼓 夏空に響く

高松 鶴尾小児童、量販店で演奏



元気よく太鼓を演奏する児童たち—高松市三条町

高松市松並町の鶴尾小学校（田中義人校長）の6年生が、同市三条町のゆめタウン高松で同校伝統の「鶴尾太鼓」の演奏を披露した。

晴れ渡った空の下、児童たちは元気よく、力強い音色を響かせた。

同校では毎年6年生が総合的な学習の一環で太鼓を

練習し、市主催の行事や地域のイベントなどで演奏している。今年は30人が4月から練習を重ねてきたが、出演を予定していたイベントなどは新型コロナウイルスの影響で中止に。「多くの人に聞いてほしい」と、校外での演奏の場を求める児童からの手紙を受けた同店が協力した。

演奏は14日にあり、駐車場の一角を会場に、10年ほど前に同校OBが作った伝統曲「和」を披露した。初めての人前での発表に、児童たちは少し緊張した様子だったが、息を合わせて迫力ある演奏を披露。詰め掛けた保護者や買い物客らから大きな拍手が送られた。

流田茉莉都衣さん（12）は「新型コロナに負けず、みんなが元気になってほしい」と願いを込めて演奏した。多くの人に見てもらえる場所でもまた演奏できれば」と話していた。

鶴尾太鼓

初

ゆめタウン公演

7月14日(水)